

全数報告の感染症

- 1 類感染症: 報告なし
- 2 類感染症: 細菌性赤痢 5 例 (感染地域: 愛知県 1 例、中国 1 例、スリランカ 1 例、インド/ネパール 1 例、疑似症 1 例)、腸チフス 2 例 (感染地域: ともにインドネシア)
- 3 類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 122 例 (有症者 98 例、うち HUS 6 例、死亡 1 例) (感染地域: すべて国内 国内の多い感染地: 群馬県 (19 例)、大阪府 (9 例)、兵庫県 (9 例)、福岡県 (8 例)、青森県 (7 例) 年齢群: 10 歳未満 (58 例)、10 代 (13 例)、20 代 (23 例)、30 代 (9 例)、40 代 (4 例)、50 代 (9 例)、60 代 (4 例)、70 歳以上 (2 例) 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2 (61 例)、O26 VT1 (28 例)、O157 VT2 (22 例)、O157 VT1 (4 例)、O121 VT2 (3 例)、O111VT1 (2 例)、その他/不明 (2 例))
- 4 類感染症: E 型肝炎 2 例 (感染地域: 北海道 1 例 (感染源: 猪肉/鹿肉)、千葉県 1 例 (感染源: 不明))、A 型肝炎 2 例 (感染地域: 千葉県 1 例、国内 (都道府県不明) 1 例)、つつが虫病 4 例 (感染地域: 青森県 2 例、長野県 2 例)、デング熱 2 例 (感染地域: インドネシア 1 例、マレーシア 1 例)、マラリア 2 例 (ともに三日熱 感染地域: ともにパプアニューギニア)、レジオネラ症 7 例 (すべて肺炎型) (年齢群: 50 代 3 例、60 代 2 例、70 代 2 例 感染地域: 栃木県 1 例、岐阜県 1 例、京都府 1 例、島根県 1 例、広島県 1 例、山口県 1 例、福岡県 1 例)
- 5 類感染症: アメーバ赤痢 11 例 (腸管 10 例、腸管外 1 例) (感染地域: 国内 8 例、タイ 2 例、ペルー 1 例 感染経路: 経口 3 例、性的接触 2 例 (ともに異性間)、不明 6 例)、ウイルス性肝炎 4 例 [すべて B 型 感染経路: 性的接触 3 例 (異性間 2 例\*、同性間 1 例)、不明 1 例\*うち 1 例はアメーバ赤痢と重感染]、急性脳炎 3 例 (A 型インフルエンザウイルス 2 例 (3 歳、5 歳、うち 1 例死亡)、病原体不明 1 例 (2 歳))、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例 (ともに孤発性プリオン病 (古典型))、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例 (A 群、20 代)、後天性免疫不全症候群 10 例 (無症候 5 例、AIDS 3 例、その他 2 例) (感染経路: 性的接触 9 例 (同性間 7 例、異性間/同性間 1 例、不明 1 例)、輸血・血液製剤 1 例 (感染地域は国外) 感染地域: 国内 8 例、セネガル 1 例、韓国 1 例)、梅毒 6 例 (早期顕症 I 期 2 例、早期顕症 II 期 2 例、無症候 2 例)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 例 (遺伝子型: VanB 1 例 (菌検出検体: 便)、遺伝子型: 不明 1 例 (菌検出検体: 胆汁))

定点把握の対象となる 5 類感染症 (週報対象のもの)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第 22 週以降減少が続いているが、過去 5 年間の同時期 (前週、当該週、後週) と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では沖縄県 (9.43)、青森県 (2.43)、長崎県 (0.90)、岩手県 (0.68) が多い。

小児科定点報告疾患: RS ウイルス感染症は 51 例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1 歳以下の報告数が全体の 73% を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は 2 週連続して増加し、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では奈良県 (2.6)、佐賀県 (2.5)、長野県 (2.4)、宮崎県 (2.4) が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第 25 週以降、減少が続いているが、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い状態である。都道府県別では秋田県 (2.3)、北海道 (2.3)、三重県 (2.2)、福島県 (2.0) が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第 21 週以降、減少が続いている。都道府県別では福井県 (7.5)、大分県 (7.4)、熊本県 (6.1) が多い。水痘の定点当たり報告数は第 25 週以降、減少が続いている。都道府県別では大分県 (2.7)、長野県 (2.4)、北海道 (2.3) が多い。手足口病の定点当たり報告数は第 19 週以降、増加が続いている。都道府県別では福井県 (16.9)、岐阜県 (7.5)、愛知県 (6.3)、静岡県 (5.6) が多い。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加し、過去 5 年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県 (1.5)、宮城県 (1.5)、埼玉県 (1.4)、山形県 (1.4) が多い。百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では秋田県 (0.06)、香川県 (0.06)、福井県 (0.05) が多い。風しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では和歌山県 (0.06)、徳島県 (0.05)、茨城県 (0.03)、富山県 (0.03) が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は微減した。都道府県別では和歌山県 (11.1)、宮城県 (10.9)、愛媛県 (6.9) が多い。麻しんの定点当たり報告数は微増した。都道府県別では千葉県 (0.05)、青森県 (0.05)、鳥取県 (0.05)、広島県 (0.04) が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県 (4.3)、鹿児島県 (4.2)、徳島県 (3.5)、長野県 (3.4) が多い。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり多い状態が続いている。都道府県別では群馬県 (2.1)、愛媛県 (1.7)、石川県 (1.4)、青森県 (1.3) が多い。

	小児科定点											眼科定点		基幹定点									
	1) インフルエンザ	RS ウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A 群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	成人麻しん	
(定点当たり)																							
愛媛県	.3	.1	1.9	1.1	4.0	1.8	1.5	.9	1.0			6.9		1.5	.1	5.6	.2		1.7				
近畿	香川県	.0		1.2	.4	2.6	.7	3.4	.4	.6	.1	3.1		2.0		.7							
	徳島県	.1		1.1	1.3	2.3	2.0	4.7	.0	.6		.0	4.2		3.5		.8						
	高知県			1.4	.6	1.4	.8	1.2	.2	.9			4.1		.6		.7	.1		.3			
全国	.3	.0	1.5	1.4	3.2	1.5	1.9	.8	.8	.0	.0	4.2	.0	1.8	.0	1.5	.0	.1	.4	.0			
北海道	.4	.1	1.5	2.3	1.8	2.3	.7	.4	.5		.0	3.9		3.0		.4							
東北	.6	.0	.8	1.5	2.8	1.7	.5	1.0	.7	.0		5.8	.0	1.8	.0	1.0			.0	.5			
関東	.0	.0	1.8	1.3	2.9	1.4	1.2	.9	.9	.0	.0	3.9	.0	1.6	.1	2.5	.0	.1	.7				
甲信越北陸	.0	.0	1.5	1.6	3.2	1.7	3.5	.6	.6	.0	.0	3.6		2.7		1.5	.0	.1	.4	.0			
東海	.0	.0	1.7	1.4	2.9	1.8	6.1	1.1	.9	.0	.0	3.9	.0	1.6	.0	.7	.0	.1	.4				
近畿	.0	.0	1.5	1.3	3.3	1.2	1.8	.6	.8	.0	.0	4.9	.0	1.6	.0	1.0		.1	.4	.0			
中国四国	.1	.0	1.2	1.1	3.7	1.1	1.4	.6	.8	.0	.0	4.3	.0	1.7	.0	1.4	.0	.2	.4	.0			
九州沖縄	1.1	.0	1.4	1.2	4.4	1.4	.7	.5	.9	.0		3.6		1.8	.0	1.6	.0	.2	.2	.0			

1) 高病原性鳥インフルエンザを除く。 2) 成人麻しんを除く。 3) 真菌性を含む。 4) オウム病は除く。 (7月20日集計)

全国 全数把握感染症 第28週 (2006.7.10～7.16)

類 型	二類感染症				三類	四類感染症															五類感染症																								
	疾病名	(2)コレラ	(3)細菌性赤痢	(5)腸チフス		(6)パラチフス	(1)腸管出血性大腸菌感染症	(1)E型肝炎	(2)ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	(3)A型肝炎	(4)エキノコックス症	(6)オウム病	(8)Q熱	(11)コクシジオイデス症	(15)つつが虫病	(16)デング熱	(18)日本紅斑熱	(19)日本脳炎	(22)ブルセラ症	(23)発しんチフス	(24)ボツリヌス症	(25)マラリア	(26)野兔病	(27)ライム病	(29)レジオネラ症	(30)レプトスピラ症	(1)アメーバ赤痢	(2)ウイルス性肝炎 (E型及びA型肝炎を除く)	(3)急性脳炎	(4)クリプトスポリジウム症	(5)クロイツフェルト・ヤコブ病	(6)劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7)後天性免疫不全症候群	(8)ジアルジア症	(9)髄膜炎菌性髄膜炎	(10)先天性風しん症候群	(11)梅毒	(12)破傷風	(13)黄色ブドウ球菌感染症	(14)バンコマイシン耐性腸球菌感染症					
第28週報告数	全 国		5	2		122	2		2					4	2					2							11	4	3		2	1	10				7		2						
	四 国	愛 媛 県					1																																						
		香 川 県					2																											1											
		徳 島 県					1																																						
		高 知 県																																									1		
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					4																																						
		東 北 関 東					16							2																															
		甲 信 越 北 陸		1	2		33	1		1											1							8																2	
		東 海 近 畿		1			8																					1																	
		中 国 四 国					8								2													1																	
九 州 沖 縄			1			8																					1																		
週 推 移	全 国	28週		5	2		122	2		2				4	2					2							11	4	3		2	1	10				7					2			
		27週	5	3		1	105			2				5	1	2				2							10	2	2	1	3	2	12				9	3							
		26週	2	4	1		111	1		1				6	1					2							12	5				1	16	2			12	3							
		25週	1	5	1		67			4	1	1		15	1	1											5	2	3			3	23	2	1			8							
2006年累積数	全 国	29	217	45	15	1142	42		225	13	15	1	1	167	22	13		2		1	31			2	219	369	130	99	8	89	74	650	47	8		324	46			41					
	四 国	愛 媛 県		3			8			3					1												1	1	1		1		5					2							
		香 川 県					10			1		2	1															2					1	2					6						
		徳 島 県					15																					3										3	1						
		高 知 県		2	1					2											1							1						3					18						
	ブ ロ ッ ク 別	北 海 道					18	11		12	12				1										1	7	12	4	3		5	6	18	1				6	2						
		東 北 関 東	1	5			110	2		9		2		95						2						9	13	8	4		5	4	22			1		20				3			
		甲 信 越 北 陸	15	88	29	11	303	14		46		5		1	6	9				1						68	167	32	38	6	29	26	348	20	4		90	16				17			
		東 海 近 畿	7	15	3	1	66	4		20		1			39	2					3						20	9	12	8	1	11	4	28	6	1		11	3			3			
		中 国 四 国	2	21	4	2	113	3		30	1	2			4	5					1				1	36	46	19	9		8	13	71	2	1		33	2			6				
九 州 沖 縄		1	71	6	1	214	1		61		3			2	3	1				1	6				46	92	34	12	1	10	15	124	13	1		44	4			6					

医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

(2006.7.20集計)